

平成26年1月15日
中部地方整備局

平成25年度「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)について
～中部地方整備局管内から2件が選定されました～

今般、手づくり郷土賞選定委員会が開催され、中部地方整備局管内から寄せられた7件の応募(一般部門:6件、大賞部門:1件)の中から一般部門2件が選定されました。

【平成25年度「手づくり郷土賞」選定結果(中部地方整備局管内)】

- 天竜川を次世代に引き継ぐ「天竜川ゆめ会議」(長野県駒ヶ根市)
- 舟参宮の再興 いにしへの川みなとに賑わいをつくる(三重県伊勢市)

受賞案件について認定証授与式を行います。なお、認定証授与式の開催内容等の詳細については、後日お知らせします。

「手づくり郷土賞」は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例として広く全国に紹介することで、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰です。平成25年度で28回目の開催となります。

<参考>

○全国の選定につきましては、国土交通本省において本日付けで記者発表を行っています。

○国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/index.html>

1. 添付資料: **資料1** 中部地方整備局管内の受賞案件及び認定証授与式の日時・場所
資料2 中部地方整備局管内の受賞案件概要
資料3 平成25年度手づくり郷土賞(概要)

2. 配布先: 中部地方整備局記者クラブ、伊那記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、飯田市記者クラブ、三重県政記者クラブ、伊勢市記者クラブ

3. 問合せ先: 中部地方整備局企画部広域計画課

課長 小倉 親
課長補佐 山田 裕行
直通TEL: 052-953-8129

中部地方整備局管内の受賞案件及び認定証授与式の日時・場所

平成25年度 手づくり郷土賞^{ふるさと}（一般部門） 2件

受賞案件名	天竜川を次世代に引き継ぐ「天竜川ゆめ会議」
所在地	長野県駒ヶ根市
受賞団体	特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議
認定証授与式	日時：平成26年2月24日（月） 11：30～ 会場：国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所（会議室） 住所：駒ヶ根市上穂南7番10号

受賞案件名	舟参宮の再興 いにしへの川みなとに賑わいをつくる
所在地	三重県伊勢市
受賞団体	特定非営利活動法人 ^{かみやしろ} 神社みなとまち再生グループ 伊勢市
認定証授与式	日時：平成26年2月26日（水） 13：00～ 会場：伊勢市役所（2階市長応接室） 住所：伊勢市岩渕1丁目7番29号

中部地方整備局管内の受賞案件概要

平成25年度 手づくり郷土賞（一般部門）^{ふるさと} 2件

天竜川を次世代に引き継ぐ「天竜川ゆめ会議」

（長野県・駒ヶ根市）

「特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議」は平成14年に設立され、自信と責任をもって天竜川を次世代に引き継ぐための活動を続けています。設立以来実施している外来種の駆除等の環境保全対策、シンポジウム等の講習会には毎年数百人が参加、下流域の環境問題を学習するための「遠州灘アカウミガメ放流ツアー」には毎年約70名の親子が参加する等、活動が地域に広がっています。

また、水防協力団体として広報活動をする等、全国でも先駆的な活動をしています。特に、多自然川づくり研修会等の勉強会には地域の小中学生から高齢者まで幅広く参加し、様々な視点からより「いい川」にするための行政への提言を行っています。



舟参宮の再興 いにしえの川みなとに賑わいをつくる

（三重県・伊勢市）

江戸時代には伊勢神宮参拝の玄関口として多くの人々で賑わった神社港^{かみやしろ}を再生するため、平成14年に地域住民が主体となり「特定非営利活動法人 神社みなとまち再生グループ」^{かみやしろ}を設立しました。平成18年には交流拠点として海の駅神社^{かみやしろ}が整備され、木造船「みずき」運航による船参宮の再現や伝統行事等のみなとまちづくり活動を通じて地域間交流に努めています。

また、高齢者や放課後児童対策として、「老人憩いの家かたふりの館」や「はまっこ学童クラブ」の開設、10年間毎月継続開催している地産地消市場「辰の市」等、世代を超え活動に参加することで地域のふれあいの場となり、コミュニティの再生に大きく貢献しています。



平成25年度 手づくり郷土賞

目的

全国各地において、地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として再認識し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりに成功している事例が数多く見受けられます。

このように、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

部門

手づくり郷土賞(一般部門)

募集対象

手づくり郷土賞(大賞部門)

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果

選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

- | | |
|--|--|
| <p>①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての
創意・工夫
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)</p> <p>②地域活動における創意・工夫、取組の獨創性
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)</p> <p>③地域づくりへの成果及び波及効果
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)</p> <p>④今後の活動の継続性・発展性
(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)</p> <p>⑤他の参考となるような先進性・先導性</p> <p>⑥その他(上記以外の特に優れた内容)</p> | <p>①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての
創意・工夫
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)</p> <p>②地域活動における創意・工夫、取組の獨創性
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)</p> <p>③地域づくりへの成果及び波及効果
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)</p> <p>④今後の活動の継続性・発展性
(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)</p> <p>⑤他の参考となるような先進性・先導性</p> <p>⑥その他(上記以外の特に優れた内容)</p> <p>⑦社会資本の地域への定着状況
(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用等)</p> <p>⑧活動の継続状況
(規模を広げながら着実に継続している等)</p> <p>⑨活動の発展状況
(新たな取組を創出している、他地域へ波及している等)</p> |
|--|--|

応募団体

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体(都道府県、市区町村)との共同で応募することができます。

選定委員会

- | | |
|------------|---------------------------|
| 委員長： 西村 幸夫 | 東京大学先端科学技術研究センター 所長・教授 |
| 荻原 礼子 | 結まちづくり計画室 代表・まちづくりプランナー |
| 齋藤 潮 | 東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授 |
| 佐々木 葉 | 早稲田大学創造理工学部 教授 |
| 田中 里沙 | 株式会社宣伝会議 取締役 編集室長 |
| 田村 美幸 | 公共の色彩を考える会 名誉会長 |
| 森反 章夫 | 東京経済大学現代法学部 教授/災害復興研究所 所長 |
| 西脇 隆俊 | 国土交通省総合政策局長 |

※ 詳細については、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページをご覧ください。
(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/index.html>)